



## 5人の仲間から始まり、 今や会員数300名超に!



地域史にまつわるあらゆる研究を軸に、講演会や子ども向けのイベントなど幅広い活動を展開するのは、県内最大規模の郷土史団体「備陽史探訪の会」。その活動は、地域の魅力や歴史を再発見し、郷土愛を育むきっかけとなっています。会は小学生から90歳代まで幅広い会員で構成され、1980年の創立から40年以上を経て、今や会員数は300名を超えるほどになりました。活動の根幹を支えるのは、会員それぞれが抱いた歴史探訪への情熱と地域への愛。「歴史は楽しい!」という想いが、世代を超えてどんどん広がっています。



備陽史探訪の会  
会長  
田口 義之さん

備陽史探訪(びようしたんぼう)の会は、1980年9月に「備後を中心とした地域の歴史を研究し、愛郷の精神を涵養する」ことを目的に創立。「古代史部会」「中世史部会」「近世近代史部会」「古文書部会」という4つの部会を柱として、古代・中世・近世・近代にわたる備後の歴史について調査・研究・学習を重ねています。もともと歴史が好きだった私を含む5名の仲間たちは、「地域の謎を解き明かしたい!」という情熱にあふれていました。創立から40年以上が経ち、会員数は300名を超えました



が、歴史への情熱と地域を愛する気持ちは当時と変わりません。地域愛を原動力に、かたくなに縛られることなく活動。各自が得意とするテーマや興味のあるテーマを掘り下げています。

### フィールドワークや研究発表など 幅広い活動を展開

会は常に活動的であればならないという考えのもと、週1回程度はイベントを実施するなど、幅広い活動を展開。徒歩・バス・一泊旅行など形はさまざまですが、実際に現地を訪れて歴



史的見聞を広めます。地元の歴史を再発見するため、毎月第1土曜日に開催している「ぶら探訪」は、会員以外の参加者も多く一番人気のイベントです。毎月学習会を開催して知識を深めたり、フィールドワークを行い実際の調査の手法を学ぶほか、年6回の会報誌「備陽史探訪」、年1回の研究誌「備陽史研究」を刊行し、各会員の論文や研究レポートを発表すると共に地元の歴史を広く発信。特にホームページに掲載しているコンテンツ数は、郷土史団体として日本最大級だと思います。史跡めぐりのモデルコースとして多くの市民に利用されている「福山古墳ロード」の整備事業も会の活動の一環です。



★★★  
POINT  
日本最大級の  
webコンテンツ  
活動報告や研究成果の報告を  
書籍や会報誌だけでなく、  
ホームページで  
随時発信。

★★★  
POINT  
会を支える  
頼もしいメンバー  
小学生から90歳代まで、300  
名を超える会員が所属。世代  
交代をしながら活動を  
継続している。



FUKUYAMA  
BRAND

## 2021年度登録!!

第7回 登録活動部門

団体名◎備陽史探訪の会  
問い合わせ先◎084-953-6157  
Web◎<https://bingo-history.net/>

主な活動場所  
◎備後エリアを中心に  
全国各地



ここで  
活動中!



### まだ見ぬ備後の 歴史的出来事を発掘したい

地域史の研究だからといって、小さな卒の中におさまっている面白くありません。時には県外にも足を延ばし、見解を深めています。また、年4回の歴史講演会には新進気鋭の著名な歴史家や研究者を招待。あらゆる視点で地元の歴史を語ることで、地域文化の発展にもつながると考えています。私たちが伝えたいのは、「歴史は楽しい!」ということ。現代の私たちの営みや経験は、すべて歴史に基づいたものです。備後には、目の見ないまま埋もれている出来事がまだまだたくさんあるはず。遊び心を忘れず、今後も歴史にまつわるさまざまな活動に取り組んでいきたいです。

